

《冷房器》の上手な与え方

優しくプレゼントしてあげてください。

時には、警戒して近寄らないペットもいます。

●**怖がらせない。**

●**警戒させない。**が、与えるときのポイントです。

ペットは自分の生活圏（縄張り）に、金属の光沢のある遺物が出現すると、警戒する傾向があります。

本器は、ペットが怖がらないように光沢を消したメッキ処理をしております。

全く警戒しないペットもいますが、とても警戒する場合もありますので、ペットの正確に合わせて、上手に与えてあげてください。

最初にこの《冷房器》をあたえるときに、

うさぎや犬や猫などのペットは、初めは、この《冷房器》の価値を全く理解していません。

ただ、【変なモノ】が縄張りに入ってきたという理解でしょう。従いまして、設置してもすぐには使ってくれないペットがいます。

まず、

自分の縄張りに入ってきた【異物】を受け入れるところから始めてください。

プレートが、夏はヒンヤリ冷えていれば、冬はほんわかと暖まっていれば、そこが気持ちの良い場所だということを賢いペットたちはすぐに覚えて、自然に使用するようになります。

成功例① さりげなく置いておくのが一番効果的です。

ケージの中に設置する場合はさりげなくというわけにはいきませんが、犬や猫やうさぎには、暑い時に涼める場所・身体を冷やせる場所（温度が低くて風通しの良い場所）を探

す本能と習性があります。同じく、寒いときには暖かい場所を探す能力が優れています。

さりげなく置いておいて、自分から『アッ！！いいところ見つけた！！』
と思えるような与え方が一番良いようです。

成功例② 食べ物誘導型が効果的です。

好物をプレートの上に置いておくことで、良い場所という学習が出来て、警戒心を和らげることができます。

成功例③ お座り型。

言うことを良く聞く犬の場合には、ハアハアと舌を出して暑がっているときにプレートの上にお座りをさせることで、居心地良さを知って、使い始めます。
ただし《座らせられるいやな場所》と学習されると逆効果になります。

成功例④ ケージの中に設置型。



Mimi ちゃんはすぐに使い始めました。暑い日なので、お腹をプレートに押し付けています。

ケージの中にセットする場合には、冷房器の場所と、使いたくない時に居る場所の2か所をしっかりと確保してあげてください。

「いつでも載れば涼める（冬は暖まる）場所がある」という安心感を持たせてあげることができます。

涼めるところがある。暖かいところがあるということを知っているだけで、暑さ寒さに対するストレスを軽減する効果があります。

成功例⑤ 布カバーを敷いてあげる方法。

冷却板に、使い慣れたタオルなどの布をかけてあげると、安心して使用する様です。布の厚さで吸熱力を調整することができます。



【お願い】

なかなか使わなかったペットの使用成功例・御苦労の例など、お知らせいただければ幸いです。涼んでいるところを紹介できる写真を送っていただけたら嬉しいです。

《ご注意とお願い》

●人がつまづいてけがをする可能性がある、危険な置き方は絶対にしないでください。

●放熱筒の上に倒れこめば、ケガをする可能性があります。本体の放熱筒側を壁側や部屋の隅になるように設置してください。

●コードを齧られないようにくれぐれもご注意ください。コードには 5 ボルト（4ワット運転の時は3ボルト）の電気が流れています。5 ボルトは乾電池 4 本程度の電圧ですから万一齧ってもペットに害はありませんが、断線すると使えなくなります。特にうさぎは齧りたがりますのでご注意ください。

付属のコイルチューブをコードに被せると、齧られ事故を軽減する効果があります。